

MACROCOSM



CONTENTS

- 2 平成20年度日中韓青少年交流事業
- 4 平成21年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集特集
- 7 グローバルフェスタJapan 2008 IYEOブース出展報告
- 8 青少年国際交流を考える集い(北海道・東北ブロック大会報告)
- 9 青少年国際交流を考える集い(関東ブロック大会報告)
- 10 青少年国際交流を考える集い(四国ブロック大会報告)
- 11 青少年国際交流を考える集い(近畿ブロック大会報告)
- 12 SSEAYPインターナショナル第20回記念総会(SIGA) in フィリピン・セブ島
- 14 スリランカ教育支援プロジェクト



提言を手交する日中韓の青少年の代表者(提供:内閣広報室(撮影:総理大臣官邸写真室))

必要だ。高等教育ではリーダーシップの育成が重要である。だからこそ、試験勉強だけではなく、リーダーシップを始めとする私たちの能力をのばしていく十分な時間が必要だと考える。

- 3か国が互いの理解をより深めていくために、教育に関する情報を青少年間で共有していくことが大切である。また、リーダーシップの育成には、高等教育を促進していくことも重要だと考える。そのために、日中韓で国際交流プログラムを活発に行うことや、共通の奨学金制度を確立していくことを提案する。私たちは、インターネットを中心としたメディアを利用して、今後も東アジアの交流が活発に行われるよう努力し続けていきたい。

3. 文化交流

- 私たち、日本、中国、韓国の3か国は、文化交流を通じて、お互いが持つ古い偏見の壁を乗り越え、共通点を認識することで、平和で協調的な未来を創っていくことを誓う。

- この誓いを実現するために、三つのことを提案する。第一に、自国のみならず他国の文化や歴史をより深く理解できるような教育制度の充実。第二に、青年向けの文化交流プログラムの促進。最後に、3か国が良好な関係を築く基盤となる相互訪問を推進する組織の創設。以上、三点が日中韓青少年からの提案である。

2008年12月13日

平成21年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集特集

内閣府青年国際交流事業の素晴らしさを周りの人に、そして広く社会に伝えましょう！

<何を掴むかはあなた次第！>

事業に参加して、将来の糧となるものを掴み、自分のフィールドで、次代の我が国を担いたいという前向きで積極的な気持ちを持っている青年を待っています。

内閣府は、参加青年が身に付けるものとして次の点を重視しています。

- 国際社会で通用する考え方
- 諸外国に対する視野、日本に対する視野、社会の多様性に対する視野
- 団体を動かす能力、団体をいかにする能力
- 国を代表する経験

また、事業に参加した青年は、その経験をいかして、一人一人が、国会議員や企業経営者、大学教員、国際機関職員など社会の様々な分野で活躍するとともに、各国で団体を組織し、そのネットワークをいかした国際交流活動や青少年育成活動などを展開しています。

このネットワークに参加すれば、活動するフィールドは限りなく広がります。

- 全世界に広がる約3万人のネットワーク



<内閣府青年国際交流事業一覧>

事業名	事業概要
国際青年育成交流	カンボジア、ラオス、ラトビア、ドミニカ共和国の各国にそれぞれ10人の日本青年を18日間派遣します。訪問国では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、日本文化の紹介、国際協力活動の体験、教育・福祉・環境等の課題別の視察、ホームステイなどを行います。
日本・中国青年親善交流	中国に25人の日本青年を15日間派遣します。中国では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、文化・スポーツの交流、教育・文化・福祉・産業等の各種施設の訪問、ホームステイなどを行います。
日本・韓国青年親善交流	韓国に25人の日本青年を15日間派遣します。韓国では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、文化・スポーツの交流、教育・文化・福祉・産業等の各種施設の訪問、ホームステイなどを行います。
世界青年の船	日本青年約140人と外国青年約140人が、43日間、船内で共同生活をしながら、インド、アラブ首長国連邦を訪問します。船内では、異文化理解、環境、ボランティア等のテーマについての英語によるディスカッションをメインのプログラムとするほか、各国の社会事情の紹介、文化・スポーツ交流などを行います。訪問国では、その国の青年たちとの交流、各種施設の訪問などを行います。
東南アジア青年の船	日本青年約40人とASEAN10か国の青年約290人が、52日間、国内・船内で共同生活をしながら、シンガポール、マレーシア、タイ、ブルネイ、フィリピンを訪問します。船内では、異文化理解、環境、ボランティア等のテーマについての英語によるディスカッションをメインのプログラムとするほか、各国の社会事情の紹介、文化・スポーツ交流などを行います。訪問国では、その国の青年たちとの交流、ホームステイ、ボランティア活動、各種施設の訪問などを行います。
青年社会活動コアリーダー育成プログラム	高齢者関連、障害者関連、青少年関連分野の社会活動に携わる日本青年（各分野8人）を、イギリス（高齢者）、フィンランド（障害者）、ドイツ（青少年）の各国に10日間派遣します。訪問国では、関係機関や施設等を訪問して、派遣分野の背景事情や社会活動に関する先進的な取組を学ぶと共に、関係者とのディスカッション等を通じて、帰国後、日本において社会活動の中核として活躍するための研修を行います。





※ 訪問国及び日程は諸事情により変更になることがあります。最新の情報はホームページで確認してください。 <http://www.cao.go.jp/koryu/>

事業名	国際青年育成交流	日本・中国 青年親善交流	日本・韓国 青年親善交流	世界青年の船	東南アジア青年の船	青年社会活動 コアリーダー 育成プログラム
訪問国	カンボジア ラオス ラトビア ドミニカ共和国	中国	韓国	インド、 アラブ首長国連邦 [西南アジア地域を中心 に世界12か国の外国青年 約140人と共に船内で共同 生活をしながら各国を訪問]	シンガポール、マレーシ ア、タイ、ブルネイ、フィ リピン [ASEAN10か国(カン ボジア、インドネ シア、ラオス、ミャン マー、ベトナムを含 む。)の青年約290人 と共に船内などで共同 生活をしながら各国を 訪問]	イギリス (高齢者関連活動) フィンランド (障害者関連活動) ドイツ (青少年関連活動)
実施時期 (期間)	平成21年9月	平成21年9月		平成22年1月～3月	平成21年10月～12月	平成21年10月
	18日間	15日間		43日間	52日間 (国内プログラム含む)	10日間
募集人員	各国 10人	各国 25人		約140人	約40人	各国 8人
資格要件等	国籍	日本国籍を有すること				
	年齢	18歳～30歳 (昭和53年4月2日～ 平成3年4月1日生まれ)	18歳～30歳 (昭和53年4月2日～ 平成3年4月1日生まれ)	18歳～30歳 (昭和53年4月2日～ 平成3年4月1日生まれ)	18歳～30歳 (昭和53年4月2日～ 平成3年4月1日生まれ)	23歳～40歳 (昭和43年4月2日～ 昭和61年4月1日生まれ)
	事後活動	帰国後も内閣府の事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活発に行うことができる者				
	語学力 など	交流活動を円滑に行 える英語力を有するこ と。	訪問国の公用語によ る簡単な日常会話能 力があれば望ましい。	交流活動を円滑に行える英語力を有すること。		高齢者関連、障害者 関連または青少年関 連の社会活動経験を 原則3年以上有するこ と。(英語による簡単 な日常会話能力があら ば望ましい。)
	その他	内閣府(又は旧総務府)の行う同種の事業に参加したことのある者は応募できません。 (ただし、青年社会活動コアリーダー育成プログラムへの応募はこの限りではありません。)				
研修	事前*	7月上・中旬の7日間		9月下旬～ 10月上旬の6日間	7月下旬の6日間	6月下旬の3日間
	出発前	出発直前の2日間		出航直前の6日間	出航直前の6日間	出発直前の2日間
	帰国後	帰国直後の4日間		—	帰国直後の2日間	帰国直後の2日間
経費	参加費	13万円程度	8万円程度	22万円程度	23万円程度	8万円程度
	事後活動組織入会金	研修費用、渡航手続費用及び船内食費(船事業のみ)など。				
	その他	3万円				
応募窓口	各都道府県の青少年対策主管課(室)または全国的組織を持つ青少年団体等 [参加申込書、作文等を提出していただきます。]					
募集期間	おおむね2月～3月中の予定(募集期間については、都道府県連絡先一覧を参照してください。)					

* 事前研修は、最終選考を兼ねます。

平成21年度内閣府青年国際交流事業各都道府県連絡先一覧

※ 募集期間及び中間選考日は予定です。また、都道府県への応募は、原則として、募集時点の住民票住所の属する都道府県青少年対策主管課(室)を窓口としていますが、都道府県により取り扱いに違いがありますので、詳しくは、下記の各都道府県青少年対策主管課(室)までお問い合わせください。

都道府県	主管課等名	電話番号	(*直通)	募集期間	中間選考日
北海道	知事政策部知事室国際課	011-204-5114	*	2/2~3/23	書類選考
青森県	環境生活部青少年・男女共同参画課	017-734-9226	*	2/2~3/19	4/11
岩手県	環境生活部青少年・男女共同参画課	019-629-5348	*	2/1~3/27	4/10
宮城県	環境生活部青少年課	022-211-2558	*	2/2~3/31	4/10
秋田県	生活環境文化部県民文化政策課	018-860-1553	*	2/18~3/25	4/11
山形県	文化環境部女性青少年政策室	023-630-2727	*	2/16~3/31	書類選考
福島県	生活環境部青少年育成室	024-521-7187	*	2/9~3/23	4/5
茨城県	知事公室女性青少年課	029-301-2183	*	2/12~3/19	3/28
栃木県	県民生活部青少年男女共同参画課	028-623-3076	*	2/2~3/30	4/7
群馬県	生活文化部少子化対策・青少年課	027-226-2393	*	2/9~3/30	4/8~4/9
埼玉県	県民生活部青少年課	048-830-2905	*	2/2~3/27	書類選考
千葉県	環境生活部県民生活課	043-223-2330	*	2/5~3/25	4/9
東京都	教育庁地域教育支援部生涯学習課	03-5320-6859	*	2/6~3/16	書類選考
神奈川県	県民部青少年課	045-210-3844	*	2/18~3/23	4/5
新潟県	福祉保健部児童家庭課	025-280-5214	*	2/6~3/19	4/7
富山県	厚生部児童青年家庭課	076-444-3136	*	2/12~3/24	4/12
石川県	観光交流局国際交流課	076-225-1381	*	2/2~3/19	4/11
福井県	安全環境部県民安全課	0776-20-0745	*	2/2~3/31	4/12
山梨県	企画部県民室青少年課	055-223-1357	*	2/2~3/23	3/28
長野県	企画部生活文化課	026-235-7210	*	2/16~3/24	書類選考
岐阜県	環境生活部男女参画青少年課	058-272-8237	*	2/6~3/19	4/10
静岡県	教育委員会青少年課	054-221-3312	*	2/1~3/10	3/21
愛知県	県民生活部社会活動推進課	052-954-6175	*	2/2~3/19	書類選考
三重県	健康福祉部こども局こども未来室	059-224-2404	*	2/5~3/25	4/4
滋賀県	健康福祉部子ども・青少年局	077-528-3557	*	2/2~3/27	4/12
京都府	府民生活部青少年課	075-414-4304	*	2/16~3/19	4/7
大阪府	生活文化部次世代育成支援室青少年課	06-6941-0351	(4844)	2/2~3/19	4/6~4/10のうちいずれかの日
兵庫県	企画部県民部男女青少年課	078-362-3143	*	2/1~3/19	4/4
	(財)兵庫県青少年本部活動支援部	078-891-7410	*		
奈良県	福祉部こども家庭局青少年課	0742-27-8615	*	2/1~3/31	書類選考
和歌山県	環境生活部県民局青少年・男女共同参画課	073-441-2503	*	2/2~3/19	4/4
鳥取県	文化観光局交流推進課	0857-26-7108	*	2/6~3/16	書類選考
島根県	環境生活部文化国際課	0852-22-5480	*	2/1~3/25	4/4
岡山県	生活環境部青少年課	086-226-0560	*	2/16~3/31	書類選考
広島県	環境部県民局県民活動課	082-228-9335	*	2/2~3/19	4/8(コアリーダーを除く)
山口県	地域振興部国際課	083-933-2343	*	2/2~3/26	4/14
徳島県	県民環境部男女参画青少年課	088-621-2176	*	2/2~3/27	4/11又は4/12
香川県	総務部県民活動・男女共同参画課	087-832-3195	*	2/23~3/23	4/7
愛媛県	県民環境部県民活動推進課	089-912-2415	*	2/12~3/31	4/8
高知県	文化環境部文化・国際課	088-823-9605	*	2/2~3/27	4/8~4/10のうちいずれかの日
福岡県	新社会推進部青少年課	092-643-3386	*	2/18~3/19	4/5
佐賀県	くらし環境本部こども課	0952-25-7382	*	3/2~3/31	4/5
長崎県	教育庁生涯学習課	095-894-3365	*	2/9~3/27	4/9
熊本県	環境生活部交通・くらし安全課	096-333-2294	*	3/2~3/27	4/9
大分県	生活環境部私学振興・青少年課	097-506-3076	*	2/16~3/27	4/11
宮崎県	県民政策部文化文教・国際課	0985-26-7029	*	2/12~3/27	4/6
鹿児島県	環境生活部青少年男女共同参画課	099-286-2557	*	2/2~3/27	書類選考
沖縄県	福祉保健部青少年・児童家庭課	098-866-2174	*	2/1~3/31	4/10

(※中間選考日は2月16日現在のものです)

2008年10月4日(土)～5日(日)、東京都立日比谷公園にて実施された「グローバルフェスタJAPAN2008」にIYEO (International Youth Exchange Organization of Japan:日本青年国際交流機構)が初めてブース出展し、運営委員を中心にさまざまな企画を実施しました。

グローバルフェスタJAPANは、楽しく分かりやすい事業を通じて、来場者に国際協力をより身近に感じ、ODAを含む国際協力の現状・必要性、政府とNGOの協力などについての理解と認識を深めてもらうこと、さらには、これらを通じて国際協力への参加を促進することを目的としています。

今年度は、「世界に響け!地球を守るメッセージ～ひとりひとりが「地球市民」～」をテーマに、国際協力に携わる政府機関やNGO等の各種国際協力団体のブース出展による活動紹介や、国際協力に関するステージやワークショップなどが行われ、2日間でおよそ9万6,000人が来場しました。



■ IYEOブースのねらい

1. IYEOの活動(事後活動)紹介と協力依頼
2. 内閣府青年国際交流事業広報
3. IYEO人材発掘

■ 企画

- ・ IYEO：事業広報
- ・ SWYAA：20周年記念事業(ケニヤ、SWYフォレスト、スリランカ)
- ・ SSEAYP：タイ王国・スタディツアー
- ・ 航空機派遣：ドミニカ共和国派遣、カンボジア派遣現地活動紹介

企画に携わった運営委員の感想

- ・ 会場内の他の団体のブースには、たくさんのIYEO会員が関わっており、IYEOのネットワークの広さと、活発な活動状況を再度確認できた。
- ・ 多くのIYEO会員がブースに足を運んでくれて、テント周りが常に混雑していた。また、連絡が途絶えていたIYEO会員とも連絡がつくようになった。家族を連れて遊びに来たIYEO会員も多かった。
- ・ 国際協力に関わりたいが、何からはじめたらよいかかわらないという一般来場者が、内閣府事業に興味を示してくれた。

ブースの壁面も有効活用して各事業の紹介に利用



▼ワークショップコーナーで、「IYEOの社会貢献活動紹介」についてのプレゼンテーションを行った



▲IYEOブースの様子



▲ブース前は終日、大勢の人でにぎわった



弘前大学国際交流センター准教授サワダ・ハンナジョイ氏による基調講演



青少年国際交流を考える集い

北海道・東北ブロック大会報告

日付：平成20年10月11日(土)～12日(日)

場所：弘前プリンスホテル(青森県弘前市)

大会テーマ：感じようふるさと！育てようふるさと！
～地域を知って世界への架け橋となろう～

「感じようふるさと！育てようふるさと！」をテーマに、津軽を様々な角度から感じ、どんな形で国際交流へいかすのかを考えることを目的とした今回の大会。

初日の津軽焼き学習体験では、講師から伝統や歴史について学び、実際に粘土から作りました。実に様々な器が並び、楽しい時間となりました。

歓迎交流会では、リンゴを使った料理が振る舞われる中、全員参加型のリンゴの皮むきと早食いゲームで盛り上がりました。

懇親会会場へ移動し、津軽三味線の生演奏と産地の食材を使った料理と地酒で思う存分津軽を堪能しました。

二日目には、弘前大学国際交流センター准教授サワダ・ハンナジョイ氏による、ご自身が感じる“Third Culture”について、講演していただきました。その後、今大会最終プログラムである意見交換会へと流れ、二日間を通して参加者それぞれが感じた「ふるさと」を今後どのような形で促進させていくかなどを班に分かれて語り合い、議論し、発表しました。

今回の大会では、意見交換会を最終プログラムに設定することを試みました。体験して感じ、聞いて感じ、話して感じ、食して感じ、それぞれが色々な形で津軽を感じることができた後の意見交換会は、とても充実し、大いに盛り上がりました。

この大会で感じたことを無駄にはせず、自分たちなりに促進させ、今後の国際交流活動にいかしていきたいと思います。



学習体験で「津軽焼き」に取り組む参加者

時間	プログラム内容
10月11日(土)	
12:00	受付
13:00	開会式・日程説明
14:00	地元文化の歴史・産業の学習体験
16:00	帰国報告会
17:00	写真撮影・休憩等
18:00	歓迎交流会
20:00	移動・懇親会
10月12日(日)	
06:00	朝市ツアー(自由参加)
07:30	朝食・チェックアウト
09:00	講演(サワダ・ハンナジョイ氏)
09:50	意見交換会・発表
11:00	閉会式
11:30	地域理解研修



交流ゲーム「りんごの皮むき&早食い競争」



意見交換会・発表で「ふるさと」について討議し、発表する



フリーライターの石黒加奈氏による基調講演「セルフ・エスティーム(自尊心)について考える」



青少年国際交流を考える集い

関東ブロック大会報告

日付：平成20年10月18(土)～19日(日)

場所：勝沼ぶどうの丘(山梨県甲州市)

大会テーマ：甲斐の国「山梨」を通じた人生熟成プロジェクト2008
～異文化理解を深め、自己を知る



分科会② 日本語を母語としない子どもたちの支援

山梨県青年国際交流機構会長 村松 智子
関東ブロック「青少年国際交流を考える集い」実行委員長 松川 裕子

「関東ブロック山梨大会」開催にあたり、各地から多数のご参加及び多大なるご支援、ご協力をいただき、実行委員会一同心より感謝しております。

今回のブロック大会は山梨県特産品のワインから連想される「熟成」をキーワードにプログラムを企画しました。基調講演では、講演者の体験談を通じて国際交流の場における自尊心の重要性について考えました。分科会では、甲州ワインの歴史・風土を学び、伝統工芸水引でお土産作りを体験することによって国際交流活動へのヒントを得ることを狙いとしていました。また地元で多文化共生のために活動する学生との意見交換を通じて地に足の着いた国際交流活

動の模索をしました。参加者各自が興味ある分野について知識を深め、より深みのある人生を送るきっかけ作りになったことを願っております。

実行委員会立ち上げは約1年前のことでした。企画は少数精鋭力、実行は世代を超えたチーム力で乗り切りました。各自が忙しい身ではあるものの、おかげさまで和気藹々と楽しく準備を進めてこられたのは望外の喜びです。本大会を通じて旧会員の掘り起こしもでき、人と人とのつながりのすばらしさに感動しました。また、若手メンバーの著しい成長振りを垣間見られたことは有意義なことでした。

参加者の皆様からの温かなコメントと的確な改善点のご指摘をありがたく受け止め、本大会の成果を単なる自己満足に終わらせることなく、今後のプログラムへとつなげていきたいと考えています。本当にありがとうございました。



分科会① 「ワインを楽しむ集い」～甲州ワインの歴史と風土に触れる



分科会③ 水引工芸でお土産作り

時間	プログラム内容
10月18日(土)	
13:00	受付
14:00	開会式
14:30	基調講演「セルフ・エスティーム(自尊心)について考える」(石黒加奈氏)
15:45	連絡事項・全体写真撮影
16:10	分科会
	①ワインを楽しむ集い～甲州ワインの歴史と風土に触れる(新田正仁氏)
	②日本語を母語としない子どもたちへの支援(山梨県立大学国際ボランティア・クラブ)
	③水引工芸でお土産作り(稲次幸代氏)
17:40	チェックイン
19:00	懇親会
10月19日(日)	
09:00	チェックアウト・受付
09:30	帰国報告会
10:30	閉会式
11:30	地域理解研修(大日影トンネル⇒川崎観光園⇒まるき酒造)

分科会①「まげわっぱ」で木のお弁当箱づくりに取り組む



青少年国際交流を考える集い

四国ブロック大会報告

日付：平成21年1月24（土）～25日（日）

場所：馬路温泉（高知県安芸郡馬路村）

大会テーマ：小さな村から世界へ～人と資源のhow to ゆ〜ず in 馬路村

報告者 西村 梓

1月24～25日、平成20年度四国ブロック大会を、高知県安芸郡馬路村「馬路温泉」にて開催致しました。当日は、悪天候で交通事情の悪い中、四国ブロック内のみならず東海、中国地方、遠くは沖縄からも参加者があり、40名ほどのアットホームな大会となりました。（雪で参加できなかった方、ご迷惑をおかけしました）

今大会のテーマは、「小さな村から世界へ～人と資源のhow to ゆ〜ず in 馬路村」。村おこしに成功し、今や世界にも発信している馬路村で人材育成と資源の有効利用方法を学び、今後の活動にいかそうという趣旨です。馬路村農業協同組合の東谷望史組合長の講演や馬路村の特産品を使ったクラフト作りなどを通して、熱く生きることのすばらしさや地元資源を大切にすることの重要性を学んでいただけたのではないかと思います。また、馬路温泉周辺でのスタンプラリーも好評でした。十分な準備ができておらず、不安もありましたが、私たちの楽しんでほしいという思いが伝わった大会になったと思います。

村おこし成功の立役者である東谷望史氏による講演



時間	プログラム内容
1月24日（土）	
14:00～14:30	受付
14:30～14:45	開会式
14:50～15:40	講演「馬路村の村おこし」（講師：東谷望史氏）
15:45～16:15	ゆずの森見学
16:30～17:30	帰国報告会
18:30～	親睦会
1月25日（日）	
09:00～10:30	分科会 ①まげわっぱ ②かなば編み ③ゆず寿司
11:00～12:00	高知スタンプラリーの旅
12:00～12:15	閉会式



馬路村の村民を交えて行われた親睦会



近代的な建物のゆず加工場。これが農協です！



青少年国際交流を考える集い

近畿ブロック大会報告

日付：平成21年1月31日(土)～2月1日(日)

場所：グリーンホテルYes近江八幡(滋賀県近江八幡市)

大会テーマ：「私と世界のつなぎ方」Oh, me!?
～自己認識から広がる三方良し～

オリカイン・マルク氏の基調講演
「世界と世界に生まれ育つ私」～Oh,
the world!?人が育つ環境を認識して～



1月31日～2月1日の日程で近畿ブロック大会が滋賀県近江八幡市で開催されました。

テーマを「私と世界のつなぎ方」～Oh, me!? 自己認識から広がる三方良し～とし、国際交流を通していかに世間を良くするかを皆で語り合い、大いに楽しんだ2日間になりました。

基調講演では、フィンランド人宣教師オリカイン・マルク先生に貴重な経験談や地球市民というグローバルな視点でのお話を伺いました。その後、ファシリテータをお招きし、4つのグループに分かれて様々な角度から「世間よし」にするために経験をシェアし、アイデアを出し合いました。

翌日の帰国報告会では、本年度事業参加者が中心となって事業の紹介、共通テーマに基づいたパネルディスカッションで面白おかしく、それぞれの事業での出来事を語り、1時間20分ほどの帰国報告会はあっという間でした。

スロースタートだった実行委員会。広報期間も短く、参加者が集まるかとても不安でしたが、それぞれのネットワークをいかし、他ブロック、事業未経験者にも参加を呼びかけ、バラエティに富んだ参加者達が集まり、大いに語り合えたことにより、実行委員一人ひとりも楽し

めたと思います。 滋賀で出会った人脈などをいかして、それぞれの地域で「世間よし」の種を蒔き、それぞれが大きな花を咲かせ、すばらしい実を結んでくれれば幸いです。

時間	プログラム内容
1月31日(土)	
13:30～14:00	受付
14:05～14:25	開会式
14:30～15:30	講演「世界と世界に生まれ育つ私」 ～Oh, the world!? 人が育つ環境を認識して～ (講師：オリカイン・マルク氏)
15:40～15:50	アイスブレイク
15:55～17:10	分科会 「国際交流を“世間よし”とするために」 ①世界に飛び出す国際交流 ②地域密着型の交流 ③新規事業の立ち上げ ④気楽に語る「私」の国際交流
18:30～20:30	懇親会
2月1日(日)	
09:00～09:15	モーニングアッセンブリー
09:20～10:45	帰国報告会
10:45～11:00	閉会式
11:15～	地域理解研修



地域理解研修で
伊勢寺を訪問



分科会



帰国報告会

SSEAYPインターナショナル第20回記念総会 (SIGA) in フィリピン・セブ島

The 20th SSEAYP International General Assembly in Cebu, the Philippines

「東南アジア青年の船」事業ASEAN各国事後活動組織と、日本青年国際交流機構 (IYEO) で組織しているSSEAYPインターナショナルの第20回記念総会 (SIGA) が、平成20年5月1日～5月4日に、フィリピン・セブ島で開催されました。

1988年にマレーシア・クアラルンプールにて第1回SIGAが開催されて以来、ほぼ毎年、SSEAYPインターナショナル加盟各国の持ち回りでSIGAが開催されています。

第20回目を迎えた今回は、“SIGA@20... Beyond The Usual... (いつもと違った体験)”をテーマに掲げ、ASEAN各国と日本から250名以上の参加者が集まる、様々な趣向を凝らした大盛況の総会となりました。

開会式には、2008年1月に東南アジア諸国連合 (ASEAN) の事務総長に就任したばかりのSurin Pitsuwan氏のご臨席を賜りました。

日本からの参加者も、「東南アジア青年の船」事業の既参加者だけで

なく、「青年の船」事業・「世界青年の船」事業・「国際青年育成交流」事業の既参加者やその家族・友人も含め、多様な参加者が集まり、「東南アジア青年の船」事業事後活動のネットワークを体験しました。

5/1	参加者到着、夕食、SSEAYPインターナショナル会長会議
5/2	開会式、総会 レクチャー/ワークショップ: 「人材マネジメント」、 「ボランティア・ネットワーク」、「トラベル・ネットワーク」、 「コンピュータ・ネットワーク」 ホストファミリー・ワークショップ 歓迎夕食会
5/3	市内見学 (CPDRC (セブ州拘留更正施設)、他) アメイジング・レース (数人のチームで、指令に従い市内をめぐるレース) 歓送夕食会
5/4	参加者帰国



SIGAに参加した各国事後活動組織の代表者



開会式であいさつするSurin Pitsuwan ASEAN事務総長



ギフト交換をする大河原友子IYEO会長と Gwendolyn F. Garciaセブ州知事



CPDRC (セブ州拘留更正施設) を訪問し、受刑者の更正プログラムであるダンスを見学する



歓送夕食会で「にっぽん丸ソング」を歌う各国からの参加者

【社会貢献活動】

今回、SIGAの開催にあわせた5月4～5日、フィリピン・セブ島にて、シンガポールの既参加青年を中心に社会貢献活動に取り組みました。これは、「21世紀ルネッサンス青年リーダー招へい」事業の事後活動として実施されたもので、2007年カンボジア・シェムリアップ州での活動に続き2年目の活動となります。

小学校や児童養護施設への図書・教材・衣類の寄付や、地元子どもたちへのチームビルディング・ワークショップや生活技能訓練などを行いました。「21世紀ルネッサンス青年リーダー招へい」事業で築かれたネットワークをいかし、日本のIYEOやギリシャなどからも図書・教材の寄付がありました。

次回は、2009年5月にインドネシア・ジョグジャカルタで開催されるSIGAにあわせての社会貢献活動の実施が計画されています。



児童養護施設で子どもたちへのチームビルディング・ワークショップを行うSSEAYPインターナショナル・シンガポールのメンバー

SSEAYPインターナショナル第21回総会 (SIGA)

インドネシア・ジョグジャカルタで開催されます！

☆☆☆ The 21st SSEAYP International General Assembly in INDONESIA ☆☆☆

<http://sigajogja2009.com/>

次回、第21回SIGAは、インドネシア・ジョグジャカルタで開催されます。「東南アジア青年の船」事業の既参加青年だけでなく、他事業の参加者、また、ご家族やご友人、一般の参加もできますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

早期申し込み割引参加費が設定されていますので、お早めにお申し込みください。

【日程】 平成21年5月1日(金)～5月4日(月・祝)

【場所】 インドネシア、ジョグジャカルタ

【テーマ】 SIGA Jogja 2009 - Experience the Difference

【プログラム(予定)】

5月1日 参加者到着

5月2日 開会式、総会、ワークショップ、
ポロブドゥールツアー、歓送夕食会

5月3日 ワークショップ、ラトゥ・ポコ寺院ツアー、
歓送夕食会

5月4日 参加者帰国

【宿泊ホテル(予定)】

Jogjakarta Plaza Hotel



【参加費】

早割価格(3月12日までの申込み) US \$180.00

通常価格(3月13日から4月15日までの申込み) US \$220.00

10歳以下の子ども US \$135.00

(参加費には、プログラム参加費/プログラム中の食費/宿泊費/ジョグジャカルタ・アジスチプト国際空港から会場までの交通費が含まれます。この他に若干の事務経費が必要となります。)

【航空券】

インドネシア、ジョグジャカルタ・アジスチプト国際空港への往復航空券は各自ご用意ください。

(ジャカルタ・スカルノハッタ国際空港やバリ島・デンパサール空港ではありませんのでご注意ください。)

IYEOを通じての購入を希望される場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【申し込み方法】 参加ご希望の方は詳細資料を以下の問い合わせ先からお取り寄せください。

【問い合わせ先】 IYEO SIGA係 担当：白鳥、田島

TEL: 03-3249-0767 FAX: 03-3639-2436

Email: siga@iyeo.or.jp <http://www.iyeo.or.jp/ja/>

国際支援プロジェクト(スリランカ教育支援プロジェクト)

One More Child Goes To School

笑顔の輪を広げよう ~子どもたちに夢を届けよう~



日本青年国際交流機構の会員により構成された教育支援プロジェクトチームは、「世界青年の船」スリランカ事後活動組織が行っている教育支援プロジェクトである「One More Child Goes To School Project」に賛同し、学校に通うことが困難な子どもたちへ学用品を贈るプロジェクトに取り組んでいます。

この度、2009年1月24日(土)に、International SWY Day (第1回「世界青年の船」事業の出航日に全世界で「世界青年の船」事後活動組織が中心となり、社会貢献活動を行う日)にかけて、スリランカ・チャリティー・ランチを新宿のスリランカレストラン「コートロッジ」で実施しました。

当日は、IYEO会員のみならず、今後、内閣府の青年国際交流事業に参加したいという青年も含め、貸し切りのレストランが満員になる34名が参加し、プロジェクトの理解を深めました。

今回のチャリティーでは30,500円の収益がありました。「世界青年の船」スリランカ事後活動組織の協力のもと、子どもたちに今後も継続して学用品等を届ける予定です。

チャリティー・ランチ開催にあたり、スリランカ大使館の方々をはじめ、多くの皆様に御協力いただいたことを感謝申し上げます。

プロジェクトに興味がある方は、以下のアドレスにお問い合わせください。

スリランカ教育支援プロジェクト・チーム
onemorechild@gmail.com

1月24日(土)スケジュール

10:45	受付開始
11:00	チャリティー・ランチ開始 あいさつ、スリランカ教育支援プロジェクトの説明、スリランカ・シェフからの料理紹介 昼食&歓談
12:00	ラッフル、スリランカ・グッズの販売 事後活動についての話、 第7回「世界青年の船」事業 松田敏明管理官による終わりの言葉
13:00	全体記念撮影、終了



「世界青年の船」スリランカ事後活動組織からの報告

2008年8月のSWYAA (「世界青年の船」事後活動組織)国際大会(日本開催)の中で行ったチャリティー・イベントで集めたスリランカ・プロジェクト分の収益で購入した学用品(オリジナルのノート等)が、スリランカ事後活動組織の代表者を通じてスリランカの子どもたちに直接届けられました。



今月の表紙

第4回グローバル・フォト・コンテスト テーマ:「次の世代に遺したいもの」

タイトル:「想像を超えた世界」

撮影者:永崎 裕麻(SWY19, 日本)
撮影場所:ポリビア



タイトル: The Most Precious... (一番大切な...)

撮影者:Levent Buyukgural(SWY17, アメリカ)
撮影場所:アムステルダム、オランダ



編集後記

平成21年度の内閣府青年国際交流事業の募集が始まっています。この事業への参加がきっかけとなって、あらたな道を歩み始める青年もいることでしょう。ぜひ、多くの方に参加してもらいたいものです。(ふ)

MACROCOSM 2月号 vol.84

2009年2月27日発行

編集 マクロコスモス編集委員会

発行 (財) 青少年国際交流推進センター

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町

2-35-14 東京海苔会館6階

TEL: 03-3249-0767 FAX: 03-3639-2436

e-mail: macrocosm@iyeo.or.jp

URL: <http://www.centerye.org/> (CENTERYE)

<http://www.iyeo.or.jp/> (IYEO)

編集協力 内閣府政策統括官(共生社会政策担当)

日本青年国際交流機構 (IYEO)

定価 200円 [本体191円]

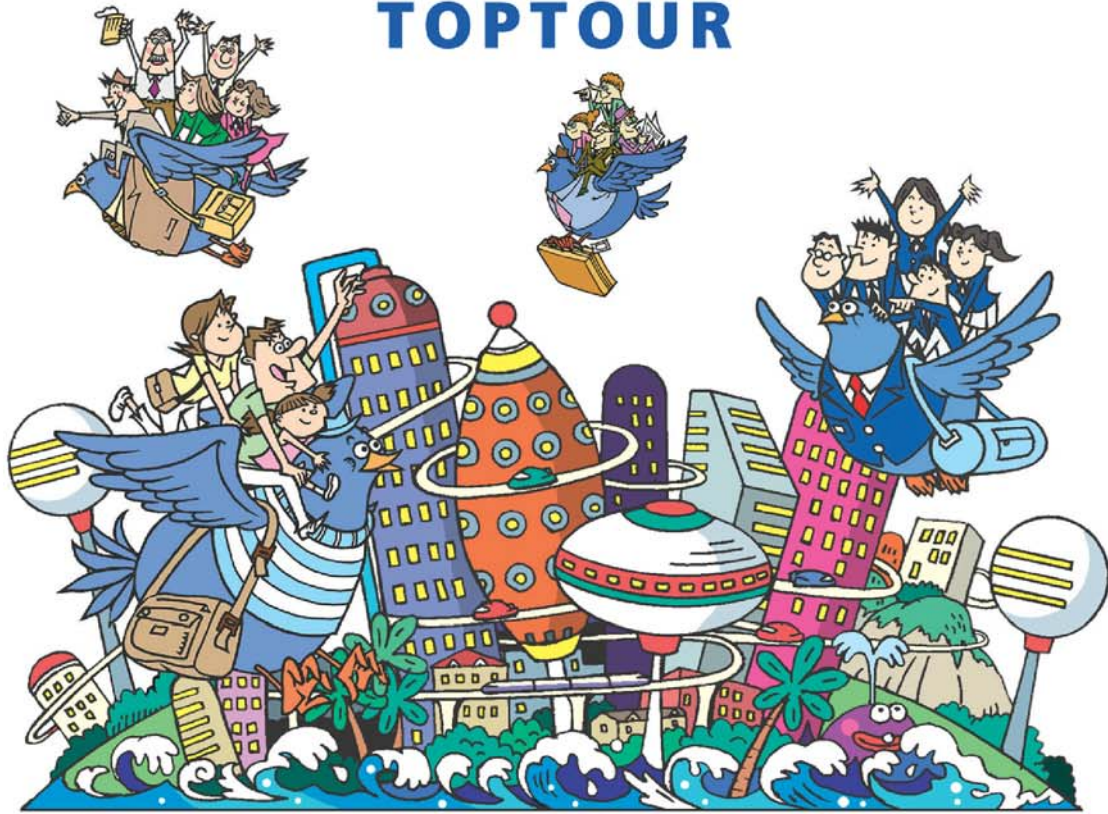
印刷所 株式会社デックス

TEL: 03-3400-8089 FAX: 03-5469-5270

The 50th Anniversary



TOPTOUR



人が行き、人が集う、それが旅。

東急観光株式会社は創立50周年を機にトップツアー株式会社として生まれ変わりました。

旅は人と人とのコミュニケーションの架け橋
旅は人と自然が触れ合う地球の扉
旅は人と歴史をつなぐ時空間のトンネル
そんな旅を創造し、提案する[旅行インテリジェンス企業]
それがトップツアー株式会社

東急観光は50年にわたる第一幕からトップツアーとして新たな第二幕のステージに立ちました。

みなさまから愛される企業をめざして……



東急観光が社名を変えました。

トップツアー株式会社

国土交通大臣登録旅行業第38号 © 日本旅行業協会正会員・ボンド保証会員
〒153-8550 東京都目黒区東山3丁目8番1号 <http://www.toptour.co.jp> <http://toptour.jp>

NIPPON MARU にっぽん丸



あこがれが、親しみになる。

キール運河を航く「にっぽん丸」 撮影：佐藤秀明

にっぽん丸のフィールドは、地球です。日本の海、世界の海へ、皆様をエスコートします。

東京ワンナイトクルーズ

東京発着

東京→(相模灘周遊)→東京
2009年6月25日(木)~6月26日(金)

43,000円

神戸のんびりワンナイトクルーズ

神戸発着

神戸→(瀬戸内海周遊)→神戸
2009年6月11日(木)~6月12日(金)

45,000円



ウィークエンド新宮・館山クルーズ

東京発着

東京→新宮→館山→東京
2009年6月26日(金)~6月28日(日)

89,000円

神戸/横浜のんびりカジュアルクルーズ

神戸発/横浜着

神戸→横浜
2009年7月13日(月)~7月14日(火)

32,000円

東北夏祭りクルーズ

横浜発着


横浜→秋田→青森→横浜
2009年8月2日(日)~8月7日(金)

248,000円

*表示の代金はステートルームC1室を2名で使用した場合の大人お一人様(航海中全食事付/消費税込)旅行代金です。*この他にも各種クルーズがございます。お気軽にお問合せください。

 **商船三井客船**
http://www.mopas.co.jp

お近くの旅行会社、または商船三井客船クルーズデスク
 **0120-791-211**

 **ボンド保証会員** 観光庁長官登録旅行業第946号
日本旅行業協会正会員
〒107-8532 東京都港区赤坂1-9-13 三會堂ビル5F

since
1884
Pioneer Of
Cruise